

# 年頭のごあいさつ



田上町長 佐野恒雄

あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

二〇二三年の干支は「卯」です。うさぎが、飛び跳ねる姿から「飛躍」や「向上」を象徴する年とされています。

昨年六月より二期目の町政運営を担わせていただいております。その責務の重さに改めて身を引き締め、町の発展のため全力で取り組んでまいります。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続く中、私自身は、確実に「町は動いた」と感じています。

四月のうめまつりには多くの方からお越しいただき、四月下旬から五月上旬にかけては、田上町の「たけのこ」を求めて毎日、直売所に長蛇の列ができていました。さらに、町商工会青年部主催で十月に実施した「たがみバンブーブー」では、田上の竹で作った灯笼「竹あかり」に、町内外から一か月で二万数千人の方から訪れて頂きました。昨年は様々な場面で、町がにぎわい、注目が集まる一年であったのではないのでしょうか。

道の駅たがみや田上町交流会館などの施設がにぎわいの拠点となり、イベントなどに関わる皆様が情熱と創意でおおいに盛り上げてくださった結果だと思えます。心から感謝いたします。

一方で、町には少子高齢化問題、物価高騰、農業問題など様々な課題はありますが、「住む人が喜びと幸せを感じる町に人は集まる、人を大事にする町に人は集まる」と考えております。町に住むすべての方が笑顔で過ごせるよう「第六次総合計画」の将来像である「誰もがずっと住み続けたいまち たがみ」を目指して全力で取り組んでまいります。

今年は何れも町制施行五十周年の節目の年でもあります。町民皆様にとりましても、大きく飛躍する幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

